

授業科目名 ＜英訳＞	証券市場の一般均衡分析 A General Equilibrium Analysis on Asset Markets A				担当者氏名	経済研究所 教授 原 千秋			
配当学年	1回生以上	単位数	2	開講期	前期	曜時限	月4	授業形態	講義
[授業の概要・目的]									
この講義の目的は、一般均衡論的に基づく証券市場分析の手法を紹介することにある。投資家の効用関数（リスク回避度、主観的時間割引率、確率的信念など）を明示的に取り上げ、効用最大化行動の帰結として最適ポートフォリオや均衡証券価格を説明することを分析の主眼とする。特に、連続時間モデルにおいてリスク回避度、主観的時間割引率、確率的信念が投資家間で異なると、資産価格や効率的リスク配分がいかなる影響を受けるかを詳細に分析する。									
[授業計画と内容]									
以下のような課題について、1課題あたり1～2週の授業をする予定である。									
1. 問題の所在 2. 確率過程の基礎 3. 連続時間ファイナンスモデルの紹介 4. 裁定取引の非存在条件と状態価格 5. 完備市場 6. Arrow-Debreu均衡の存在と効率性 7. 代表的消費者の構築 8. リスク回避度の異質性の帰結 9. 主観的時間割引率の異質性の帰結 10. 確率的信念の異質性の帰結									
[履修要件]									
「上級ミクロ経済学」・「経済学のための数学」・「上級統計学」は履修済みのこと。これらの講義の内容は既知としてこの講義は進められる。「ファイナンス工学」など、ファイナンスに関する講義が履修済みであることも望ましい。基本的には修士課程2年生が対象である。									
[成績評価の方法・基準]									
持ち込み一切不可の、数学的な問題より成る期末試験のみに基づく。									
なお、本学修士課程在学者で出席を希望するものは、必ず履修登録すること。単なる聴講は認めない。									
[教科書]									
Darrell Duffie 『Dynamic Asset Pricing Theory, 3rd ed』 (Princeton University Press) ISBN:978-0691090221									
[参考書等]									
(参考書)									
Yvan Lengwiler 『Microfoundations of Financial Economics: An Introduction to General Equilibrium Asset Pricing』 (Princeton University Press) ISBN:978-0691126319									
Christian Gollier 『The Economics of Risk and Time』 (MIT Press) ISBN:978-0262572248									
-----証券市場の一般均衡分析 A(2)へ続く↓↓↓									

証券市場の一般均衡分析 A (2)

Ionnīs Karatzas and Steven E. Shreve 『Methods of Mathematical Finance』 (Springer Verlag) ISBN:978-1441928528

(その他 (授業外学習の指示・オフィスアワー等))

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。